

## 令和 5 年度 学校評価

### 1 実施時期

#### (1) 教職員自己評価

1 回目令和 5 年 7 月、2 回目令和 5 年 1 2 月

#### (2) 学校関係者評価委員会

1 回目は令和 5 年 9 月 1 日 (金)

2 回目は令和 6 年 1 月 2 3 日 (月)

### 2 実施内容

#### (1) 自己評価

教職員自己評価の項目を肯定的評価から 4・3・2・1 の数値を選択

#### (2) 学校関係者評価委員会による学校関係者評価

1 回目：学校評価の項目を確認

2 回目：教職員自己評価の結果が妥当であるか、ご意見・ご感想をいただき、学校関係者評価を受けた。(3：評価として妥当である・2：評価できるが改善の余地がある・1：評価として適切ではない)

### 3 公表方法及び対象 HP での公表

### 4 成 果

#### 《ア 教職員自己評価の結果》

	評価項目	1回目	2回目		評価項目	1回目	2回目
1	学校教育目標	3.2	3.2	12	一人一人のきめ細やかな支援	3.2	3.1
2	校務分掌	3.2	3.2	13	個別の支援計画	3.1	2.9
3	確かな学力の定着	3.3	3.2	14	特別支援教育委員会	2.9	2.9
4	指導法の工夫改善	3.0	3.2	15	小中連携事業	2.8	2.9
5	他を思いやる心の育成	3.3	3.3	16	小学校交流		2.5
6	自主性の育成	3.3	3.2	17	家庭地域への情報提供	3.2	3.2
7	体力向上	3.2	3.3	18	地域ボランティア	2.7	2.7
8	健康保持増進	3.1	3.2	19	清掃活動	3.1	3.2
9	生徒指導	3.3	3.2	20	学校マナーアップ	3.3	3.0
10	生活の決まり定着	3.2	3.3	21	事故未然防止	3.2	3.3
11	不登校	3.2	3.2	22	教職員服務	3.5	3.4

第 1 回目から第 2 回目にかけて「4 指導法の工夫改善」、「7 体力向上」、「8 健康保持増進」「10 生活の決まり定着」「15 小中連携事業」「19 清掃活動」「21 事故未然防止」について、数値が上がっている。特に 0.2 ポイント以上高まったのは「4 指導法の工夫改善」で

ある。校内研修における指導法の研究や授業改善、安全意識を高める取組、倫理確立研修の定期的な取組により、意識を高めた成果だと考えられる。

しかし、「3 確かな学力の定着」、「6 自主性の育成」、「9 生徒指導」、「12 一人一人のきめ細やかな支援」、「13 個別の支援計画」、「20 学校マナーアップ」「22 教職員サービス」については数値が下がった。特に0.2ポイント下がったのは「20 学校マナーアップ」である。今後も職務指針10ヶ条や行動指針5ヶ条の周知徹底をするとともに、普段から職員同士が良い声掛けを行い、組織全体で意識を高めていく。また、今後も情報共有を行いながら、個々の生徒に対してきめ細かい支援を続けていく。

《イ 学校関係者評価の結果》 ※1回目について評価は未実施

	評価項目	1回目	2回目		評価項目	1回目	2回目
1	学校教育目標	—	3.0	12	一人一人のきめ細やかな支援	—	2.8
2	校務分掌	—	3.0	13	個別の支援計画	—	2.8
3	確かな学力の定着	—	3.0	14	特別支援教育	—	3.0
4	指導法の工夫改善	—	2.8	15	小中連携事業	—	2.5
5	他を思いやる心の育成	—	2.8	16	小学校交流	—	2.3
6	自主性の育成	—	2.5	17	家庭地域への情報提供	—	2.8
7	体力向上	—	3.0	18	地域ボランティア	—	2.5
8	健康保持増進	—	3.0	19	清掃活動	—	3.0
9	生徒指導	—	3.0	20	学校マナーアップ	—	3.0
10	生活の決まり定着	—	3.0	21	事故未然防止	—	3.0
11	不登校	—	2.8	22	教職員サービス	—	3.0

学校関係者評価委員からいただいたご意見・ご感想等

4 指導法の工夫改善

- ・具体的に工夫した内容が示されていると評価しやすいので検討してください。

6 自主性の育成

- ・3年間を通した生徒への接し方は、難しいと感じますが、不登校生徒が増えている現状をどのように捉えているのか、示してほしい。

14 特別支援教育について

- ・支援が必要な生徒さんが増えているとよくニュース等で耳にします。大変だとは思いますが、関係各所と連携を取り、きめ細かな支援・指導をお願いします。

16 小学校交流について

- ・5類移行してまだ1年経っておりません。他校との足並みを合わせる必要がありますが、次年度以降の取組を期待しております。
- ・ここ数年、交流が途絶えていましたが、また以前のように交流できるといいですね。小学生は中学生のお兄さんお姉さんと交流できることをとても楽しみにしています。

- ・コロナやインフルエンザの流行があり、なかなか難しい所でもありますが、リモート交流など出来ていくといいですね。

## 1 8 地域ボランティア

- ・おやじの会の取組がより多くの先生方に知ってもらえればと思います。また、知ってもらえるように、おやじの会から働きかける必要もあります。

## 5 今後の課題

教職員の自己評価で比較的評価の低い項目について課題とし、改善策を考える。

### ①特別支援教育、教育相談について充実を図る。

- ⇒ 特別支援学級に関する研修や情報交換を実施し、特別支援教育が身近なものとなってきた。今後も研修を重ね更なる教員の資質向上を図る。また、相談室や外部機関とも連携を強化し、個に応じた支援を丁寧に行うことで、不登校生徒への対策に繋げていく。

### ②小中連携事業や小学校交流について充実を図る。

- ⇒ 夏季休業中に実施した小中連携研修により、各分掌において情報共有と共通理解を図った。3学期には小学生の授業・部活動見学、情報交換などを実施した。来年度も、教育活動の充実を図り、円滑な中学校への接続のために充実を図る。

### ③家庭、地域への情報提供及びボランティア活動の更なる充実を図る。

- ⇒ 今年度はホームページに「大石中日記」を作成することで更新回数を大幅に増加させるなど、積極的な情報発信を行った。学校公開については、体育祭・合唱コンクールだけではなく、授業参観も4月に1回実施した（3月に1・2年生は2回目の授業参観を実施する）。来年度も保護者の皆様に学校の教育活動を知っていただく機会を設ける。また、ボランティア活動については、地域の要請に応えるとともに、校内においてボランティアを企画し、活動を充実させ、ボランティア活動の心を育成していく。